

新しい年を迎えて



## 「蒼天」は見えている!!

謹んで新年のお慶びを申し上げます。市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

一昨年一月、世界保健機構により中国武漢市で発生した原因不明の肺炎を「新型コロナウイルス感染症」と確認・報告されて以来、世界の生活と経済は一変しました。その脅威を郡上市においても実感したのは、実に昨年であります。一昨年末に四名であった市内の感染者は、翌正月には一ヶ月の新規感染者が十三名を数え、以後毎月のように感染が確認されました。殊に夏季には全国的に感染が急拡大し、郡上市の感染者累計も一二一名にも及ぶ事態となりました。いわゆる「第5波」の襲来です。一方では、未知とされていたウイルスに対するワクチン接種が進められ、市内においても医師会及び医療機関の多大なるご尽力と市民の皆様のご協力により、希望される皆様への接種が行われました。この間、市民の皆様には、外出自粛や営業時間の短縮など長期に亘るご負担をおかけいたしましたが、感染防止対策に向けたお一人おひとりの辛抱強いお取組みにより、昨秋より「感染ゼロ」の状態が続いております。同時に、心配されていました「コロナ・ハラ

スメント」についても、郡上の中ではお悩みの声を伺うことはほとんどありませんでした。本当に有難く、全ての皆様に御礼申し上げます。今後、変異株「オミクロン株」の出現などにより感染の波が再来するも、これまでの経験や取組みを活かし、市一丸となつて「コロナ社会」を生き抜いてまいりたいと存じます。

このように、「コロナに明け、コロナに暮れた」昨年ではありましたが、東京オリンピックの閉会式では、「郡上おどり」の映像が世界に向けて発信されました。十月には悲願の「めいほうトンネル」も開通しました。良いこと、うれしいこともいくつかあつたのです。昨年の新年度のご挨拶で、私は「雲外蒼天を胸に」と書きましたが、「蒼天（青空）はもう見えている」という感じがいたします。

これからも、緩みない感染防止対策を継続しつつ、市民生活の活性化と地域の賑わいの創出に力強く皆様と共に向かってまいりたいと存じます。そして、今年こそは「踊りのある郡上の夏」を!!

新しい年が皆様にとって、希望に満ちた佳い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

郡 上 市 長　　日 置 敏 明



新年のご挨拶

## 下駄の音の響く年に!!

あけましておめでとうございます。市議会を代表して、謹んでごあいさつ申し上げます。市民の皆さまには、健やかな初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は市政各般と議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますとき、一言で表わさせていただきますと「コロナ禍を市民皆で支えあつた大変な一年」であつたと感じます。二〇二〇年から依然として猛威をふるい続ける新型コロナウイルス感染症により、本市はもとより我が国及び世界の国々におきましても、長期にわたる苦境と被害を受けた年でありました。影響を受けられました皆さま、各企業の方々には、衷心よりお見舞い申し上げます。また、最前線でご尽力いただきております医療関係・介護関係の皆さま、そして感染拡大防止に努めていただいている全ての皆さまに、深く感謝と敬意を申し上げる次第でございます。

ここでは度、私たちはこの逆境経験をバネに郡上人にやどる「凌霜の精神」(なにくそ・おかげさま)と、本市が誇る優れた文化・歴史・自然環境・産業基盤をフルに活かし、このコロナ禍を乗り切り、明るい未来への道を開きたいと考えます。

改めまして、迎える令和四年はコロナに打ち勝ち明るい良き年となりますよう、皆さまと共に願い努力していきたいと存じます。

本年も、市民の皆さまとの積極的な対話を通じ、貴重なご意見やご希望を議会活動に反映させると共に、本市発展のために確実な歩みを継続したいと存じます。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、ご健康で大いなる飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

郡上市議会議長

山川直仁